

MHSは2008年5月に発足したバドミントン同好会です。今年で16年目になります。

2025年現在、登録人数は 31 名

隔週で活動しています。

今回はラケットのお話です。

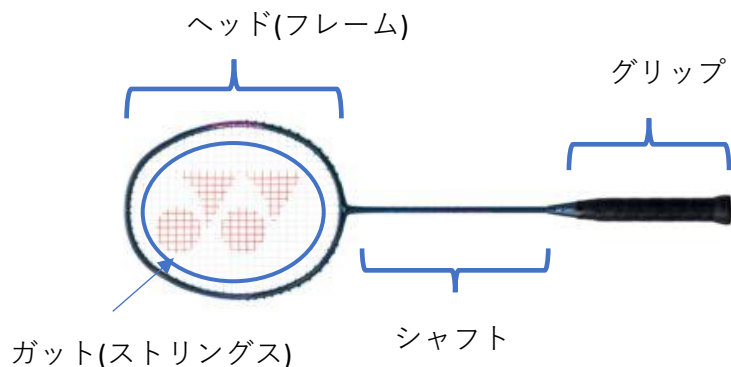
ラケットはシャトルを打つための重要な道具なのは、皆さんご存じだと思います。

一般的には軽量で強度のある素材が使用され、カーボンファイバーやアルミニウムが主流となっています。

ラケットの長さは約66~70cm、幅は20~25cmですが、プレイヤーの好みによって様々なサイズがあります。

ラケットの構造は、グリップ・シャフト・ヘッド・ガットの部分に分かれており、グリップは持ちやすさに影響。シャフトの硬さ/柔らかさはショットのパワーとコントロールに影響を与えます。

ヘッドの形状やバランス、ガットの張りの強さで打球感や飛び方が変わります。



グリップ	太い	操作性重視
	細い	パワー重視
重さ	軽い	操作性重視
	重い	パワー重視

バランス	トップライト	操作性重視。ラケットを振りぬきやすい
	イーブン	コントロール性重視
	トップヘビー	重い弾が打てる。弾が下に沈みやすい。
シャフト	柔らかい	しなりを使って飛ばしやすい。初心者向き
	硬い	シャトルの初速が早くなる。中級/上級者向き
ガット	柔らかい	しなりを使って飛ばしやすい。初心者向き
	硬い	シャトルの初速が早くなる。中級/上級者向き。 硬い程切れやすい。

↑イキって硬くしがち。ゴルフのシャフト(RよりもSやX)みたいなもの
ゴルフのヘッドスピードも最初は競いたくなりますね

去年、同好会でガット張り機を購入しましたので、ガットが切れても安心です。
好みの硬さに西尾さんが調整してくれますので、興味がわいた方は
ご参加お待ちしております。

